

地域振興プラン【沿岸広域振興圏】（令和5年度～令和8年度）の取組状況

※進捗状況：◎達成、○順調、△課題あり（遅延等）、▲未着手

項目（何を）	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)				現状と課題・今年度の取組内容	進捗 状況	第3四半期までの取組内容と成果及び課題	今後の取組予定	担当			
	単位	現状値 (2021) R3	実績値 (2024) R6	目標値 (2025) R7						実績値 (12月末)		
保健福祉環境部 地域振興プラン関係												
3 被災者一人ひとりに寄り添い、心身ともに健やかで安心な暮らしができる環境をつくります												
(1) 被災地の健康づくりとこころのケア												
1	★	【指標】 健康づくり講座などの参加者数 (累計)	人	718	1,315	1,428	1,711	○	<p>〈現状と課題〉 ・被災地である沿岸地域では住民の高齢化が加速 ・さらに、新型コロナウイルス感染症の流行による外出控えから身体活動量の低下、食生活の偏り交流の減少が見られ、健康状態の悪化が懸念</p> <p>〈今年度の取組内容〉 ① 健康づくり講座の開催（関係機関が主催するサロン等への健康管理機器の貸与と健康づくり講座の実施を含む） ② 被災地の健康づくり応援キャンペーンの実施</p>	<p>① 健康づくり講座 2回（8/5、10/20）68人 ② 健康づくり応援キャンペーン 7回（5/10、8/6、8/6、9/30、10/4、10/11、11/28）328人</p>		保健課
2	★	【指標】 傾聴ボランティア研修会等参加者数 (累計)	人	190	271	249	310	○	<p>〈現状と課題〉 経済や生活設計の面で複雑かつ多様な課題を抱えている被災者もいるため傾聴ボランティアなどの育成を通じて、被災者のこころに寄り添う取組みが必要</p> <p>〈今年度の取組内容〉 ① フォローアップ研修及び団体交流会の開催 ② 傾聴ボランティア団体活動支援</p>	<p>① 傾聴ボランティアフォローアップ研修及び交流会（3保健所合同）1回（10/20）15人 ② 傾聴ボランティア団体活動支援 6回（5/8、6/25、7/14、9/11、9/12、11/13）24人</p>	・傾聴ボランティア団体活動支援の継続	保健課
3	★	【指標】 自殺予防に取り組む関係者研修会参加者数 (累計)	人	841	1,257	1,039	1,393	○	<p>〈現状と課題〉 経済や生活設計の面で複雑かつ多様な課題を抱えている被災者もいるため、自殺の危険を示すサインに早期に気づき、適切に対応する人材の育成が必要</p> <p>〈今年度の取組内容〉 ① 自殺予防に取り組む関係者研修会の開催 ② 自殺対策会議及び実務担当者連絡会における自殺予防こころのケアに関する研修</p>	<p>② 気仙地域精神保健福祉担当者等連絡会 2回（6/3、12/1）80人 沿岸圏域自殺対策研修会 2回（9/30、11/10）56人</p>	・理美容事業者向けゲートキーパー養成研修1回予定 ・気仙地域自殺対策推進連絡会議1回予定	保健課
4 安心で快適な生活環境と活力ある地域社会をつくります												
(1) 食の安全・安心の確保												
4	★	【指標】 食品収去検査（弁当、そうざい）の基準適合率	%	82	100	100	100	○	<p>〈現状と課題〉 食品に関わる事故等の未然防止</p> <p>〈今年度の取組内容〉 ・食品衛生法に基づく収去検査 ・食品の製造、加工、調理、販売など食品関係事業者に対する監視、指導</p>	<p>・令和7年度食品収去検査計画に基づく収去検査（弁当、そうざい）を実施[当年度分終了] 検体数：11検体 基準適合：11検体 社会福祉施設等の給食施設に対する監視：18施設</p>	・岩手県食品衛生監視指導計画に基づき適切に監視指導を実施	環境衛生課
5	★	【指標】 HACCPに関する講習会の受講者数 (累計)	人	948	1,497	1,430	1,671	○	<p>〈現状と課題〉 HACCPに沿った衛生管理の実践・定着による食の安全・安心の確保</p> <p>〈今年度の取組内容〉 ・食品営業許可施設への監視 ・HACCP導入に関する講習会の継続</p>	<p>12月未見込 ○HACCP 導入に関する講習会を実施 開催回数：8回、受講者：109人 ・継続講習会（4月、5月、7月、9月、11月 61名） ・HACCP ワークショップ（10月、12月 23名） ・その他（7月 25名）</p>	・講習会等により、引き続きHACCP 導入支援を促進 ・継続講習会（隔月1回開催） ・HACCP ワークショップ（3月）	環境衛生課

項目（何を）	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)				現状と課題・今年度の取組内容	進捗状況	第3四半期までの取組内容と成果及び課題	今後の取組予定	担当
	単位	現状値 (2021) R3	実績値 (2024) R6	目標値 (2025) R7					
(3) 動物愛護思想の普及と動物のいのちを大切にす取組の推進									
6	★【指標】 圏域内の犬・猫の返還・譲渡率	%	100	100	100	100	<p>〈現状と課題〉 譲渡率の向上及び引取り頭数の低減</p> <p>〈今年度の取組内容〉 ・動物愛護思想の普及・啓発【地経費】 (動物愛護週間行事等) ・終生飼養、適正飼養の指導 ・保護動物譲渡会の開催【地経費】(5回) ・子猫の一時預かりボランティア育成支援【地経費】 ・福祉部門等との連携会議(各地区1回) ・飼い主に対する同行避難の普及・啓発(市町が行う「ペット同行避難訓練」等への協力等)</p> <p>○</p> <p>・飼養数：犬0、猫18(ボランティア預かり3頭含む) 捕獲 0 ー 引取り 0 30 負傷保護 0 2 返還 0 0 譲渡 0 24</p> <p>・動物愛護思想や動物の適切な管理方法に関する普及・啓発 ・同行避難の普及・啓発 ・猫の引取り数減少と多頭飼育問題解決に向けた関係機関との連携 ・福祉部門との連携会議 ・犬猫の一時預かりボランティア育成支援による犬猫の譲渡を推進</p> <p>・適正飼養について、随時指導 ・ボランティア登録人数：2人 ・保護猫譲渡会実施(9/6、12/6)</p>	環境衛生課	
5 良好な自然環境の保全・活用と持続可能な生活環境の整備を進めます									
(1) 自然環境の保全と活用の推進									
7	★【指標】 三陸ジオパーク等を活用した環境保全活動実施団体数(累計)	団体	3	7	7	9	<p>○</p> <p>〈現状と課題〉 三陸ジオパークやみちのく潮風トレイル等の沿岸地域の豊かな自然環境を持続的に保全するため、子どもたちに自然環境を学習する機会を継続的に提供し、保全の大切さを普及啓発していくことが必要</p> <p>〈今年度の取組内容〉 ・沿岸地域の持続可能な環境学習活動推進事業(地経費)により、NPOなどの環境保全団体に委託し、三陸ジオパークやみちのく潮風トレイルを活用した環境学習活動を実施 ・環境保全団体を参集した交流会(意見交換会)を開催</p> <p>○</p> <p>・沿岸地域の持続可能な環境学習活動推進事業(地経費)の委託契約を2団体と締結 ・環境学習推進事業を受託した団体が環境学習イベントを実施(7/26 気山親子ヨット自然教室 19名参加)、10/26 大船渡フォトロゲイニングU-18 13名参加)</p> <p>・意見交換会にて事業成果を発表 ・来年度以降に向けた関係団体の掘り起こし</p>	環境衛生課	
8	★【指標】 排水基準適用の事業場における排水基準適合率	%	100	94	100	91.1	<p>○</p> <p>〈現状と課題〉 公共用水域の環境基準達成に向けて、良好な水環境の確保が必要</p> <p>〈今年度の取組内容〉 事業場の計画的な監視・指導を実施</p> <p>○</p> <p>・管内27事業場のうち27事業場の立入検査を実施 →17事業場について排水基準適合を確認 →1事業場について排水基準超過が確認されたため改善指導 →9事業場については検体を検査機関で分析</p> <p>・引き続き監視・指導を実施</p>	環境衛生課	
(2) 廃棄物減量化対策などによる循環型地域社会の構築									
9	★【指標】 沿岸圏域の住民一人1日当たり家庭系ごみ(資源になるものを除く)排出量 ※一般廃棄物処理実態調査結果(環境省公表)引用 ※排出量=家庭ごみ排出量/総人口/365日	g	606	596	585	未確定	<p>○</p> <p>〈現状と課題〉 家庭系ごみ排出量を持続的に漸減させるため、減量化やリサイクルに向けた一層の取組が必要</p> <p>〈今年度の取組内容〉 ごみ分別回収に係る技術的支援など市町村との連携を図りながら、3Rの普及・啓発に取り組む</p> <p>○</p> <p>・クリーンいわて運動(6/11)を行い、廃棄物の減量化、3R等の推進に関する意識啓発を実施 ・10/11~12 大船渡市産業まつりにて3Rチラシを配布</p> <p>・必要に応じ、市町村及び関係一部事務組合に対する助言を実施 ・各種イベントで3Rの普及・啓発を実施 ・一般廃棄物の処理主体である市町村と連携しながら、市町村のごみ減量化に向けた取組に対し助言等を実施</p>	環境衛生課	
10	★【指標】 産業廃棄物適正処理率 ※適正処理率(%)=100-[(B/A) ×100] A:立入件数 B:報告徴収件数	%	100	100	100	100	<p>○</p> <p>〈現状と課題〉 建設廃材の不適正処理が依然としてみられることから、監視・指導を行っていくことが必要</p> <p>〈今年度の取組内容〉 不適正事案解消のため、立入指導等により進捗を確認</p> <p>○</p> <p>・排出事業者及び廃棄物関係施設等への立入検査を実施(計2,809件(12月末時点)) ・関係機関と合同で建設リサイクル合同パトロールを実施(6/12、10/10) ・岩手県及び宮城県不法投棄防止合同会議を開催(10/29) ・市町村、警察等との不法投棄監視合同パトロールを実施(11/5)</p> <p>・排出事業者や処理業者に対し、適正処理に係る指導を実施 ・不適正事案については、立入検査を継続し、進捗確認及び指導を実施</p>	環境衛生課	

項目（何を）	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)				現状と課題・今年度の取組内容	進捗状況	第3四半期までの取組内容と成果及び課題	今後の取組予定	担当	
	単位	現状値 (2021) R 3	実績値 (2024) R 6	目標値 (2025) R 7						実績値 (12月末)
(3) 再生可能エネルギーの導入促進などによる地球温暖化対策の推進										
11	★ 【指標】 「いわて地球環境にやさしい事業所」新規認定数（累計）	事業所	2	5	3	5	○	・関係事業者において脱炭素化経営企業及びエコスタッフ養成セミナーについて周知を実施 ・10/11～12 大船渡市産業まつり及び、森川海流域協議会にて、いわて脱炭素化経営企業のチラシを配布	・いわて脱炭素経営カルテ提出時、廃棄物関連年度報告書提出時等の機会を捉えてチラシを活用して制度の周知を実施 ・業界団体参加の会議（森川海流域協議会等）の参加者へ認定制度及びいわて脱炭素カルテについて周知を実施	環境衛生課
12	★ 【指標】 「地球温暖化を防ごう隊」への圏域内小学校参加率 ※小学校数21校	%	4.8 (1校)	9.5 (2校)	9.5 (2校)	0 (0校)	○	・管内の全小学校（21校）へ、「地球温暖化を防ごう隊」の事業内容及び参加を呼び掛けるお知らせを郵送（4/30） ・前年度の参加校（2校）に対してメール及び電話により直接依頼（5/8） ・水生生物調査の講師対応等に小学校2校に事業概要を説明のうえ参加を依頼（7/8、8/2） ・10/20に再度、管内の全小学校（21校）へ参加を呼び掛けるお知らせを郵送	・申込状況に応じて、引き続き小学校向けに制度を周知	環境衛生課
(4) その他の主要な課題										
13	・野生鳥獣の保護管理の推進	-	-	-	-	-	○	・狩猟免許新規試験の周知を実施（管内市町村へ広報依頼及びポスター配布） ・ツキノワグマ被害防止対策物品（移動式電気柵、センサーカメラ）の貸出しについて管内市町村へ周知（6月） ・ツキノワグマ被害防止対策物品移動式電気柵、センサーカメラ貸与：2件（内訳：4/1、大船渡市（カメラのみ）2地点） ・ニホンザル生息数調査を外部委託により実施（調査中、本庁事業（新規）） ・三陸復興Facebook にツキノワグマ被害防止に係る注意喚起を掲載（6月、10月） ・狩猟免許更新試験を土曜日に開催（8/2 住田） ・狩猟事故防止研修会を開催（10/24 大船渡市、10/14 住田町、10/29 大船渡市（未受講者向け）） ・ニホンザル生息数調査結果を専門家会議に報告（中間報告12月）	・ツキノワグマ被害防止対策物品貸出を周知 ・気仙地区ツキノワグマ保護管理協議会を開催 ・被害対策の注意喚起を実施（随時） ・ニホンザル生息数調査結果を専門家会議に報告（報告2月）	環境衛生課

項目（何を）	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)				現状と課題・今年度の取組内容	進捗状況	第3四半期までの取組内容と成果及び課題	今後の取組予定	担当	
	単位	現状値 (2021) R 3	実績値 (2024) R 6	目標値 (2025) R 7						実績値 (12月末)
6 安心して子どもを生み育てることができ、高齢者や障がい者がいきいきと、健やかに暮らせる社会をつくりま										
(1) 結婚支援や、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援の推進										
14	★ 【指標】 結婚サポートセンター（i-サポ）入会登録者数（累計）	人	67	104	107	120	○	・庁舎内ポスター掲示やパンフレット配架によりPRを実施 ・児童福祉週間作品展示と併せパンフレットを配架しPRを実施 ・地域振興センターで実施している企業訪問において、i-サポのPRを実施 ・沿岸局で実施した婚活イベントにおいて、i-サポを併せてPR	・庁舎内ポスター掲示やパンフレット配架によりPRを実施 ・地域振興センターで実施している企業訪問において、i-サポのPRを実施	管理福祉課
15	★ 【指標】 「いわて子育て応援の店」延べ協賛店舗数（累計）	店舗	44	60	62	60	○	・県ホームページなどにより協賛のPR実施 ・庁舎内パンフレット配架により制度のPR実施 ・事業所を対象とした研修会等におけるパンフレットの配布により協賛のPR実施（計126件）	・事業所訪問や県ホームページなどにより協賛のPRを実施（通年）	管理福祉課
16	★ 【指標】 ヤングケアラー問題の周知啓発活動（介護・障がい福祉関係機関対象）	回	-	2	3	1	○	・庁舎内啓発用資料の掲示により周知を実施 ・児童福祉週間作品展示や児童虐待防止月間普及啓発と併せ啓発用資料を配架し周知 ・令和7年度気仙地域感染症予防研修会（9/3）にて周知 ・令和7年度気仙地区民生委員・児童委員研修会にて周知（11月下旬～書面開催）	・令和7年度気仙地区身体障がい者等研修会（2/26）にて周知	管理福祉課
(2) 高齢者の生きがいづくりや社会参加活動の推進										
17	★ 【指標】 介護予防に資する住民主体の通いの場（※）への参加者数	人	1,723	1,455	1,799	集計中	○	・介護予防地域支援事業研修会の実施（10/17）	・「通いの場」取組事例の情報提供（随時）	管理福祉課
18	★ 【指標】 認知症サポーター養成数（累計）	人	10,185	11,958	12,097	11,989 (9月末)	○	・若年性認知症専門員認定研修の周知（4月） ・認知症ケアセミナーの開催周知（6月）	・認知症サポーターの普及啓発（随時） ・市町村が行う認知症に関する各種事業への協力及び支援（随時）	管理福祉課

項目（何を）	達成レベル・目標 (いつまでに、どのような状態にするか)				現状と課題・今年度の取組内容	進捗状況	第3四半期までの取組内容と成果及び課題	今後の取組予定	担当			
	単位	現状値 (2021) R3	実績値 (2024) R6	目標値 (2025) R7						実績値 (12月末)		
(3) 障がい者の自立支援や社会参加の促進												
19	★	【指標】 障がい者就業・生活支援センター等の支援対象者の一般就労就職率	%	36.5	25.5	30.0	12.9	<p>〈現状と課題〉 障がい者が必要なサービスを受けながら希望する地域で安心して生活できるよう、市町村、障がい福祉サービス事業者及びハローワークなどによる就労・生活支援体制などの充実が必要</p> <p>〈今年度の取組内容〉 障がい者自立支援協議会の活動を通じて、地域での受入体制の整備を支援するとともに、障がい者雇用の向上、就労機会の拡大に向けて協議等を実施</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援協議会就労部会・気仙障がい者就業・生活支援センター連絡会議（5/21、7/16、9/17、11/26） ・自立支援協議会運営会議（6/24） ・自立支援協議会（8/27） ・12月末：就職希望者116人、就職者15人⇒就職率12.9% 	<ul style="list-style-type: none"> ・気仙地域障がい者自立支援協議会への出席等を通じ、障がい者への就労支援の取組を継続的に共有 	管理福祉課
20	★	【指標】 ひとにやさしい駐車場利用証交付数（累計）	件	1,092	1,341	1,316	1,414	<p>〈現状と課題〉 障がい者が必要なサービスを受けながら希望する地域で安心して生活できるよう、ユニバーサルデザインに対応した公共的施設等の拡充が必要</p> <p>〈今年度の取組内容〉 ・「ユニバーサルデザイン」について、事業者、地域住民などによる取組や学校での啓発活動を支援 ・ユニバーサルデザインに対応した公共的施設の情報を提供する「いわてユニバーサルデザイン電子マップ」の充実や「ひとにやさしい駐車場利用証制度」の普及啓発を実施</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> ・12月末時点交付数：1,414枚 ・市町村庁舎や病院等へ利用証申請書を配架し制度の広報を実施 ・特定医療費受給者証更新手続き会場へ申請書を配架し制度の広報を実施（6～7月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町と連携して周知等を実施 	管理福祉課
(4) 医療と介護をつなぐ情報ネットワークを活用した、保健・医療・介護・福祉が一体となった地域包括ケアシステムの推進												
21	★	【指標】 地域医療情報ネットワークに登録している住民の割合	%	21.5	22.7	23.9	22.8 (9月末)	<p>〈現状と課題〉 ・情報通信技術（ICT）を活用した地域医療情報ネットワークの更なる充実が必要 ・住民の利用に向けた普及啓発が必要</p> <p>〈今年度の取組内容〉 ・地域医療情報ネットワークの活用に向けて、運営主体のNPO等や医療機関、介護事業者などの関係機関等との連携を促進</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年9月末現在 登録住民の割合 22.8% 加入者 11,822人、管内の人口 51,818人 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療情報ネットワーク提供法人と連携し、必要に応じてネットワークへの住民参加に係る周知啓発を実施 	管理福祉課
7 安心して健やかに暮らせる地域医療の確保と健康づくりを進めます												
(1) 医療・介護人材の確保・育成や保健・医療・介護・福祉の連携強化												
22	★	【指標】 地域医療情報ネットワーク運営研修会参加者数（累計）	人	233	267	270	297 (9月末)	<p>〈現状と課題〉 ①安定的な地域医療の提供のため人材の確保・育成などに取り組むことが必要 ②地域医療情報ネットワークが県内でもいち早く導入されて活用が始まっており、更なる充実が必要 ③大規模災害の発生に備えた医療提供体制を構築することが必要</p> <p>〈今年度の取組内容〉 ①多様な就業ニーズに応じた短時間勤務（プチ勤務）などの導入により医療・介護人材の確保を支援するとともに、高校生等を対象とした意識啓発を促進 ②医療機関・介護事業所などの連携強化を支援するとともに、研修会により人材育成を図り、保健医療・介護・福祉の切れ目のない提供体制の構築を促進 ③災害医療訓練の実施により関係機関の連携体制を強化するなど、災害医療提供体制の構築を推進</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模地震時医療活動訓練への参加（9/5～6） ・地域医療情報ネットワーク提供法人と連携し、運営研修会及びイベント出展を実施（随時） 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療情報ネットワーク提供法人が主催する運営研修会を開催（月1～2回開催） ・災害及び救急医療対策連絡会議の開催 	管理福祉課
(2) 食生活の改善や運動習慣の定着などによる生活習慣病の予防と高齢者の健康づくりの推進												
23	★	【指標】 企業対象の健康づくり出前講座・チャレンジマッチなどの参加延べ企業数（累計）	社	93	129	117	154	<p>〈現状と課題〉 沿岸圏域では、65歳未満の働く世代のがん・脳卒中・心疾患等の生活習慣病による死亡率が特に高く、特定健康診査結果においても朝食欠食、喫煙、飲酒などの課題が多く、働く世代の生活習慣改善及び健康づくりの取組みが必要</p> <p>〈今年度の取組内容〉 ① 企業対象の健康づくり出前講座 ② チャレンジマッチの実施</p>	○	<p>①② 商工会議所等と連携した各事業所等への周知（大船渡商工会議所 520カ所）</p> <p>① 健康づくり出前講座 12回（5/23、5/29、6/17、7/4、8/28、9/16、10/1、10/3×3回、10/9、11/26）370人</p> <p>② 健康セルフサポート事業 5事業所 延13回（5/23、5/29、8/25、8/28、8/29、10/1、10/3、10/9、11/21、12/2、12/3、12/25、12/26）273人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・企業対象の健康づくり出前講座の実施 随時対応 	保健課

